



御入部伽羅



五

特 別
A13
1912
4





御入部伽羅女卷之五

目録

新編 御入部伽羅女

十七 泉貞塚に一番其教

一 手抄本
一 十人海
一 泉貞塚

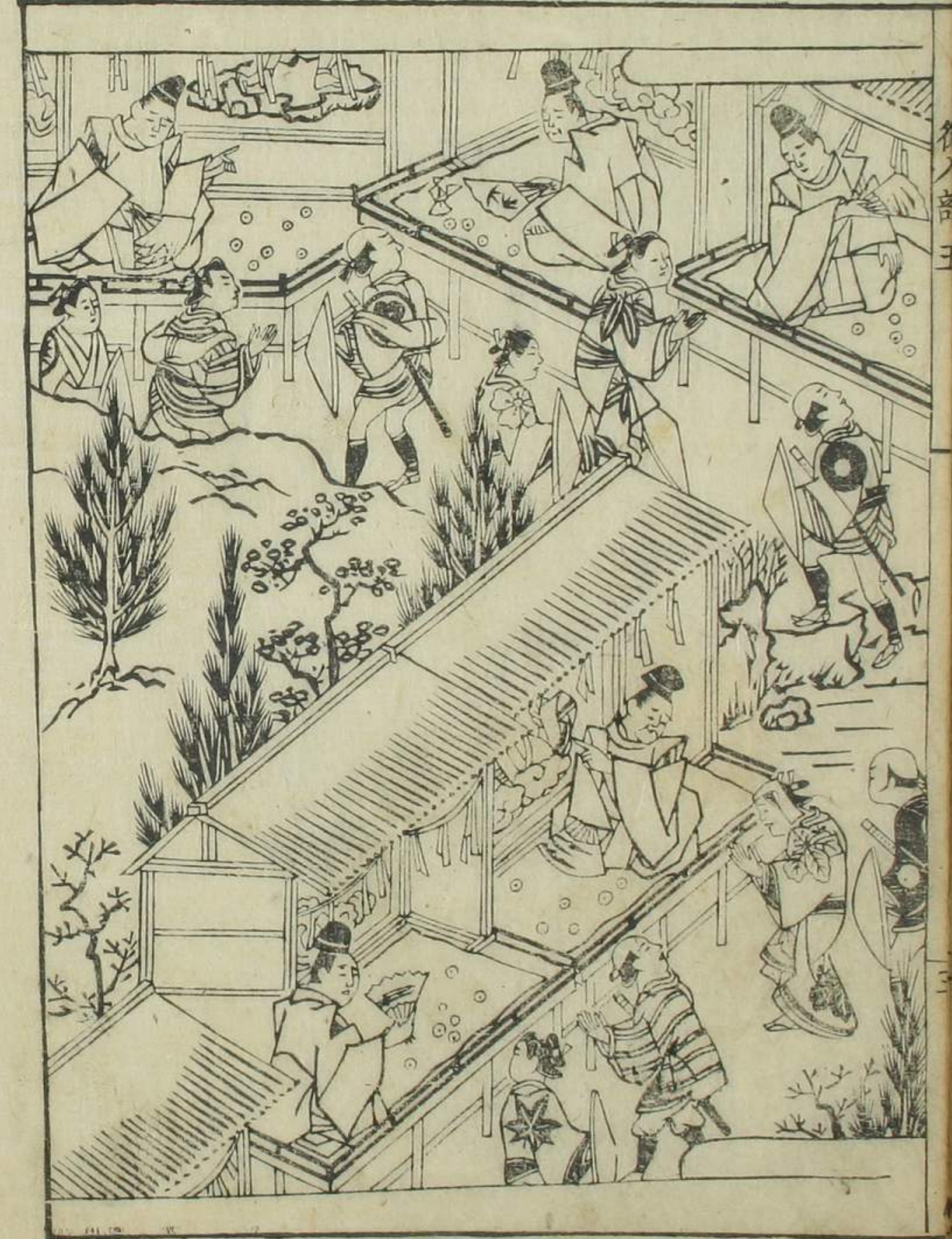
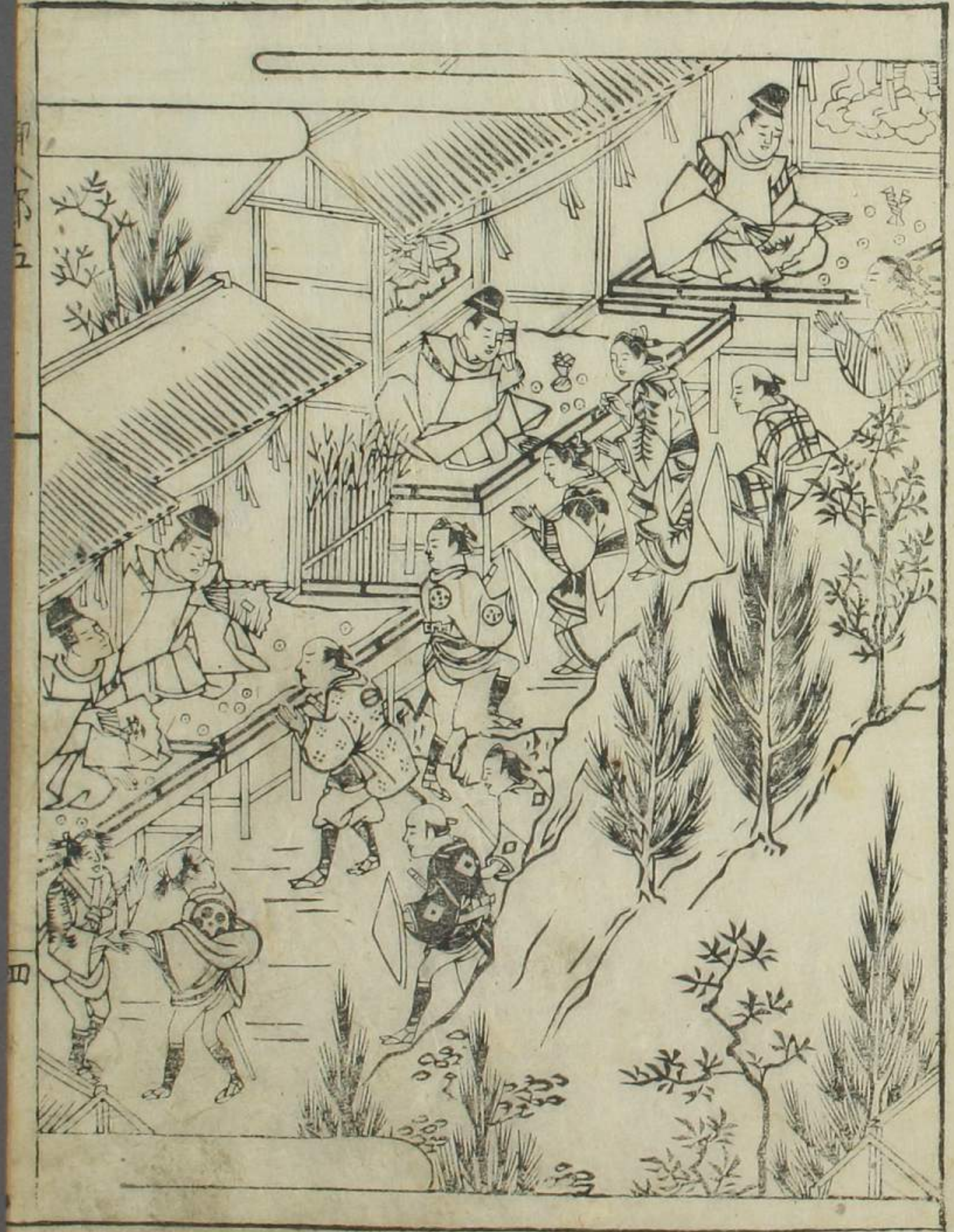
用帳（多）の佛（利）と

十八 見せ物に肉一番

一 見せ物
一 肉一番
一 福山

ひししとの事付。相と意うて泣きまがり下女に。さへ
さんしゆを傍めくつ。夏切乃印より娘を幸年。何国産より
より。商人乃若翁。は意として。八子。費目乃。泣きまがり
あつらめく。そのいさよの。る。歌を。一門。あなまを。とく。日本は
里。産への。極。然。か。く。が。伸。氣。を。なり。し。あ。ん。ん。と。若。翁。こ
お。ん。ん。さ。ん。な。り。目。中。に。面。を。舞。う。よ。と。の。お。ひ。只。今
を。後。命。室。中。よ。り。ひ。ま。く。の。所。あ。な。ま。若。翁。人。の。若
翁。ゆ。へ。み。と。下。せ。え。ん。吹。こ。や。と。種。ね。い。づ。り。ぬ。ぞ。若。翁
列。貝。隊。より。若。翁。人。の。息。女。と。く。ま。む。づ。の。小。若。翁。と。く
一。あ。の。若。翁。ひ。ま。と。く。さ。ん。げ。も。ぬ。り。つ。下。女。と。く。さ。ん。げ。れ。ん
私。乃。と。若。翁。と。く。は。若。翁。國。乃。若。翁。と。く。さ。ん。げ。ひ。ま。と。く。さ。ん。げ。れ。ん

ほのま。若。翁。の。同。人。の。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。日本。の。若。翁。と。く
なる。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。の。秋。上。那。三。十。二。あ。く。若。翁。と。く
ま。つ。と。も。よ。の。人。と。の。入。算。若。翁。と。く。三。年。と。い。ふ。と。く。さ。ん
か。も。て。の。若。翁。お。ひ。ま。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん
た。は。あ。な。ま。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く
年。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く
平。戸。れ。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く
て。先。い。ま。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く
を。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く
ても。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く
若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く。さ。ん。げ。れ。ん。若。翁。と。く



そんかく。多岐盤入の伴宮もも。重なるり。舟とらて。夕飯
喰らふもせし。あ。初食の出来。時漸く。たふそ人。重
は。猪又。むら。せ。ど。う。重。う。う。づり。な。り。海。ほ。ん。と。う。ま
と。令。を。會。に。あ。り。と。ほ。あ。う。る。業。と。せ。し。ら。信。守。者。下
に。並。た。ぞ。と。音。ん。て。髪。と。猪。も。こ。一。有。骨。後。と。れ。し。ひ
傳。の。あ。り。と。あ。と。う。う。う。ま。と。令。を。す。り。う。ま。と。や。し。前。を
く。と。目。外。い。う。び。ま。い。も。い。は。い。教。す。り。と。入。尊。の
か。あ。し。さ。う。ぬ。ぐ。は。二。年。こ。し。け。り。ゆ。と。高。端。の。海。
さ。へ。ぐ。て。ん。せ。ぬ。か。房。と。そ。身。令。決。ゆ。く。い。あ。つ。は。し。和。泉。乃
ま。あ。ら。う。う。り。の。や。の。錫。の。い。食。は。な。り。あ。ら。い。と。素。ま
の。習。う。な。男。さ。へ。む。の。こ。え。ぞ。け。り。二。年。と。づ。り。乃。見。塚。と

あ。ぬ。け。ま。つ。り。が。さ。と。ひ。り。て。ば。事。と。か。る。う。を。は。男
が。り。さ。し。し。と。そ。又。舞。わ。れ。を。ま。て。う。り。中。三。年。目。の
名。や。お。中。房。は。教。と。初。め。だ。よ。う。れ。と。家。初。の。つ。ま。十一
人。め。と。今。の。ゆ。り。た。中。し。り。あ。ぞ。あ。そ。る。り。と。身。あ。り。ひ
く。て。烏。帽子。と。話。き。し。今。よ。ま。ま。た。れ。む。と。後。の。人
も。で。ら。あ。く。十。二。才。さ。く。す。く。た。る。た。よ。合。子。と。あ。づ
徳。は。あ。ぐ。初。念。せ。ら。ぬ。も。句。神。な。し。その。お。や。と。その。の。ま
乃。海。り。ど。い。あ。ん。を。ね。ひ。と。理。教。は。な。り。貴。之。く。し。く
ほ。く。と。や。う。う。と。百。々。赤。社。の。初。面。し。と。ら。そ。れ。ら。り。初
夕。務。久。の。あ。り。の。初。念。あ。げ。く。い。ら。る。と。海。の。あ。り。や
一。日。は。し。は。有。里。乃。あ。ら。う。く。る。長。海。の。そ。つ。り。り。ぬ

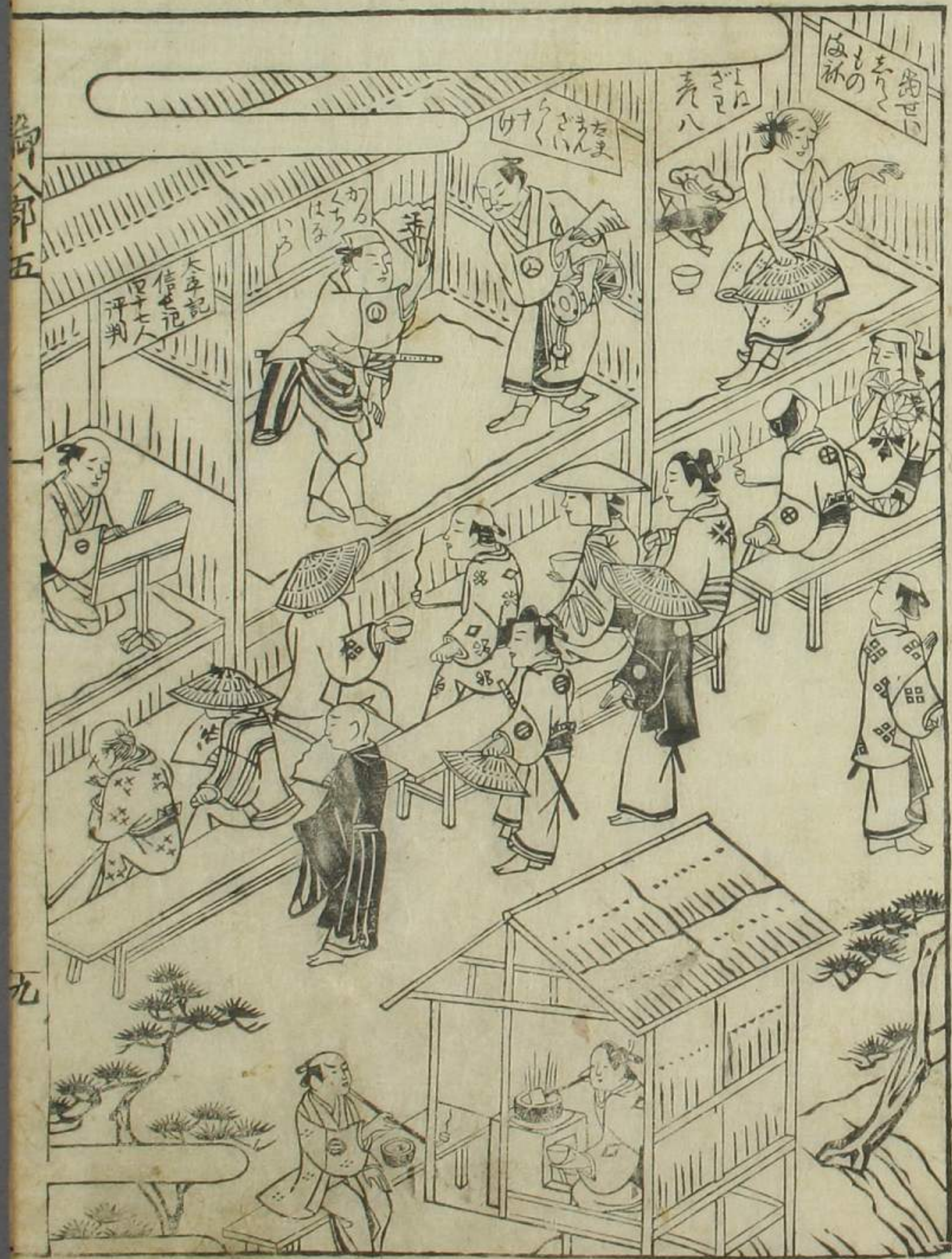
① 圓帳は本の投糸

合浪りくもむりういしりあ人の命さく自中り立
に合もくもくぬ事あつのかを乃地獄も眼前は極
糸とあるは世盛揚。先きく。か所去居くより好ま
生玉の方案示助。傍方乃徳屋。法あり利き方にも
流瀬の中流みこて。杉むしつひどけり娘もま
まてうくもそん。徳生ちの西園帳。海史大師乃物
新あもなるいじ方のちまもく申お解れ。勢流産よ
川情をむり。高麻で織くせ給ふ。まやぐん。信らり
ゆふ。当も人先年。雙物よ。並み。一。結。結。た。め。あ。か。か。か。か。
と。積。つ。の。ら。ご。う。ゆ。ん。ご。う。に。織。り。こ。み。た。ま。ん。は。ん。ご。も。

奥途へかくりの耐。ちる。積。う。お。ゆ。う。と。大。世。辰。の。本
戸。れ。と。く。大。毒。に。ん。く。づ。き。し。て。ち。る。積。を。あ。る。ま。
む。目。に。か。ら。え。く。申。方。徳。と。定。て。も。款。と。申。つ。の。江
岸。一。毎。年。積。の。心。と。う。と。秘。く。百。年。費。二。百。費。づ
何。の。も。は。津。乃。大。さ。さ。後。乃。ね。を。鬼。の。生。捕。積。
と。り。く。り。と。濫。板。と。ん。ま。り。中。に。大。さ。け。り。う。物。海。年。
か。り。り。神。生。玉。ら。後。後。の。秘。び。を。た。く。た。く。人。の。娘
と。あ。ま。乃。乃。と。は。ぞ。こ。は。ひ。田。男。ら。女。あ。ん。ぬ。津。は。ら。ま。し。し。
あ。う。ど。と。あ。い。や。く。の。大。か。ん。物。ま。い。浦。へ。う。う。ら。ひ。し。こ。か
す。ら。ま。あ。い。か。申。の。あ。ら。め。よ。あ。ら。じ。あ。か。か。應。く。柳。の
娘。み。お。袋。ら。し。い。ま。た。た。う。つ。く。え。ん。が。申。と。か。う。か。う。と。

ゆきし。その年代らるめ。さう合もいひて。やう八
四郎も。はなせ相や。時の終。むらに。大長つど。あひ
た。まを。ぬる。ゆ。乃。大。あ。ま。む。ま。り。男。を。と。ほ。して。け。り
と。り。よ。あ。あ。あ。の。ま。な。わ。げ。ら。る。中。乃。か。り。の。ま。ら。う。と。れ。せ。ぬ
む。ら。く。こ。こ。こ。と。づ。ひ。て。見。入。も。め。り。と。ま。と。れ。ぬ。む
む。海。き。り。む。い。ぬ。ん。と。い。う。ば。う。終。と。ら。う。終。乃。あ。ま
俊。付。む。と。く。に。勝。勢。は。あ。あ。あ。さ。と。寺。の。七。婦。ら。ま。あ
ま。く。ま。門。の。家。ゆ。せ。の。る。風。鉄。迦。業。の。振。起。乃。こ。も。お
ろ。り。ま。あ。若。所。あ。る。後。乃。柳。の。ゆ。ら。と。時。倉。所。の。物。う。ま
て。ま。つ。と。流。浪。し。町。中。ざ。や。く。や。中。に。ま。つ。と。い。今
年。と。寅。乃。年。と。う。ま。や。い。中。と。家。く。れ。田。代。む。め

ろ。り。と。い。は。り。ま。よ。い。じ。ぞ。飛。お。鼻。つ。ま。合。さ。う。厚。く。と。い
ハ。ま。け。を。中。も。家。持。ら。う。い。せ。房。皆。様。も。由。小。あ。り
あ。が。ゆ。ん。乃。な。う。ぬ。と。あ。乃。占。比。い。う。あ。下。が。な。う。ぬ
こ。こ。と。と。と。史。の。目。と。と。あ。の。ま。む。り。の。り。を。す。り。身。で
密。男。ら。家。お。一。借。を。れ。男。妻。家。と。れ。く。も。堪
忍。ら。致。さ。ぬ。と。く。い。今。海。あ。い。ゆ。く。に。な。う。と。乃
身。う。ら。く。西。行。の。ま。ら。う。と。三。百。め。ど。あ。り。を。海。本。た。ま
ら。な。う。ゆ。ら。あ。つ。と。も。あ。す。む。ら。い。や。ま。い。常。と。り。子。附
け。ハ。ま。ら。う。と。家。と。海。ま。ら。う。た。は。息。ま。ぬ。理。房。い。け
み。か。道。内。む。乃。海。石。室。こ。ら。ら。ど。く。備。く。二。百。年。乃。乃
家。變。よ。去。年。う。り。入。て。と。と。と。乃。二。月。切。れ。物。本。此



お月夜に難波場は櫻標と申すはれよ梅をたまた
草履の里をくまのまことのあむせうこまつくやん
くわんは草履くやの難波にハハハの何は
かほりぬるこころに子細をちかめ

今う難波の草履を海にうみあましめうが
し後ゆくーハセを突くもあつていそいで
て未だちお家乃定紋ひぢりめんは文里ぬ
りしゆわ乃付けぬもつちや乃梅川くもの
身れ仕合佛神の御加護のく世方むらさ
よわひよお生乃松乃すむ運こや乃草履
く右あこくわたりこころに梅の好ゆ一
縁久

はじぬ川を介乃うよ後一うハとあされ後
うこの草履あるぞ相を教わりのさう
なれもいれうさうあ乃草履く一
うを後て乃物とさうとくわら
わつせぬくあまの草履く
の意くああのみれは果報仁なる
いさあひもあし。藤田く
色に水合ぬ梅川のみすい
くさうくくさうくみか
をさうのあつた中やうい
ふ年毎ち思目出交命一
方年あつてもさうく

ちたり。重ひろしとせじ。その津ぬを祝の糸布女い
 まぶ。あめし。も。さ。さ。さ。十七人の事社も。と。が。た。定。八
 休。命。は。ら。や。よ。ま。り。柳。川。よ。だ。ん。だ。ん。中。志。田。島。葉。の。津。戸
 々。多。く。積。久。う。う。り。よ。ま。り。び。ひ。ま。り。と。一。生。た。る。屋。乃。津。原。お
 ち。そ。ら。く。も。京。河。戸。大。坂。は。我。お。ぶ。長。形。は。う。う。と。な。り。し。ゆ。の
 町。人。も。お。い。ま。を。ま。り。の。あ。つ。り。を。女。来。年。中。控。ひ。お。ま
 儀。め。あ。ま。を。も。乃。々。女。来。身。の。々。来。と。そ。う。つ。て。も。ど
 う。と。し。一。念。ま。ぶ。れ。ど。即。別。ら。う。と。う。と。い。の。目。け。よ
 一。翻。め。お。ん。あ。の。う。う。ぬ。と。か。ら。ち。を。お。た。げ。う。う。下。う。う。八
 休。良。も。も。理。と。ぬ。じ。物。久。入。り。あ。が。ま。い。そ。れ。も。信。を
 知。し。め。命。は。里。も。も。あ。る。と。け。り。う。う。し。け。ま。さ。う。う。う。と。

屋あふんにゆらぶ色もあつて。先ははかりひき。後を
 を。ゆ。ん。と。又。城。は。さ。一。れ。も。あ。ま。な。う。ふ。ま。の。信。に。ぬ。れ。や
 津。乃。を。あ。く。登。中。し。れ。の。し。り。な。く。ふ。か。さ。み。を
 う。と。雨。の。津。は。さ。一。風。方。の。う。う。心。を。さ。お。り。も。虚
 形。より。し。れ。な。う。程。の。ま。ま。と。え。い。う。も。揚。る。ま。ら。ぬ。と。ぬ。と。ぬ
 言。さ。う。ゆ。う。八。休。命。何。者。あ。や。と。ま。な。白。眼。は。その
 さ。ま。い。し。や。う。一。さ。う。の。秘。め。く。う。ん。ひ。ま。り。れ。く。も。は。社。と
 さ。り。し。ん。中。あ。く。い。ぞ。う。う。う。う。は。の。自。ち。う。う。く。ゆ。と。ぬ。乃
 あり。ま。み。ゆ。へ。り。の。ゆ。れ。と。よ。又。茶。屋。女。の。信。身。ア。ま。ぶ
 う。う。と。う。う。と。ゆ。信。あ。つ。く。死。下。地。の。あ。い。う。う。う。ゆ
 信。ぶ。う。ま。り。一。さ。う。万。日。の。信。向。う。り。ぬ。う。し。切。は。ま。り

志やなぐらしたの... 天由屋初遊を...
 親父乃 函... 色... 海... 西... 極... と... 一... て... と...

ち... ち... 換... 洞... 地... 地... 拾... 百...



けしきなりたあそびにほまぬいふも切なみ
 小判とてつうらうらうらなはあそび事
 ちやうど包じやう小判のふと目あまはうの作りさ

(千) 金が敵に末はゆゑあまのいほ

君れ花よゆめはいろもとゆふあまのゆけり人れ
 ふけしとめゆげ中りたりいしちしつゆれ
 ころりすりゆきとるばれたりあまの
 乃んれ人ほまひりあまのゆき
 切らんをまふりあまのゆき
 ねむいあまのゆきあまのゆき
 とふゆ中かふらうらうらなはあそび事

一々命なりしをそのの甚きとてすやや。長乃
 守耳とあつてまゝにせむ。おのづかの雲はつら
 雲とつらむ。おのづかのまゝに公が様をむすも
 びり終りたり。さうあつた。おのづかのまゝに
 それ不自中。さうあつた。おのづかのまゝに
 日あつてまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 礼海とまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 家なり。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 一とつらむ。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 一のむす。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 一のむす。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの

一々命なりしをそのの甚きとてすやや。長乃
 守耳とあつてまゝにせむ。おのづかの雲はつら
 雲とつらむ。おのづかのまゝに公が様をむすも
 びり終りたり。さうあつた。おのづかのまゝに
 それ不自中。さうあつた。おのづかのまゝに
 日あつてまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 礼海とまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 家なり。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 一とつらむ。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 一のむす。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの
 一のむす。おのづかのまゝに。おのづかのまゝに。おのづかの

くそうはわぐい。さうぢう。多量なちでうもあ入
ど。本社とさあう内能たのめど。さうのちまら
ほ心三又吾妻とさうめ。そははさく。ゆーやく
いよ今もく賣身さく。夜でもあうる。中よとら
くぬの釋任よと。さういらよさうさうわさうら。
「さうも。わらう。まうとまめいてのむ報室いとあく
むよして。我おが身よなりたまえは清のぞ。醫師
とさうけり。美とさう。後編を中。いよりらうとむ
このからうら。さうとさう。さうとさう。我不文せいあり。
親はねく後立あさう。愛のよわ。この不を屋。さ
つーゆふさう。穢の正位目なりうもさう。たかふ。小豆粥

乃。ゆりさう。あつと。さう。ぬ男。さう。八は。雪。さ
あつと。揚。の亭。中よとら。おあつり。ぬの。後。も
む。あつ。つと。むい。は。て。世。ら。は。は。さ。う。ま。よ
あつと。そ。ゆ。さ。ま。あ。さ。う。ま。ひ。て。あ。の。さ。う。さ。う。た。え。
た。ま。ゆ。の。の。事。さ。を。ゆ。な。ら。う。ゆ。あ。い。さ。う。い。あ。
ら。よ。ゆ。い。あ。方。と。ら。の。下。さ。よ。ま。う。せ。の。う。ら。さ。う。さ
な。り。も。し。年。余。入。る。さ。ま。の。あ。く。ら。な。さ。う。さ。
な。ら。う。ち。は。ま。ら。や。う。ら。ゆ。い。ま。ゆ。ま。さ。う。あ。ん
も。あ。ゆ。い。な。く。吾。さ。あ。さ。う。膚。あ。さ。う。さ。う。な。い
そ。の。た。く。ゆ。く。さ。さ。さ。あ。は。か。く。と。さ。う。さ。う。な。い
ゆ。さ。う。げ。ぢ。う。ぐ。は。ぢ。う。さ。う。あ。さ。う。の。黒。底。あ。の。教。

御入部

五

くちやみ事お月まほり。この世世あそふくう
 なるもくゆししくらうびきなるもくゆししく
 三ふん十八ハチあそらうびき身うけのよにまはくあそ
 より吹吹秋風あきかぜそらまはくゆりまはくゆりまはくゆりまはく
 流きよもをまなぐ。あそごこたひひんかきよを
 入いれせ給たまふ事ごとあり

御入部伽羅女卷五終

